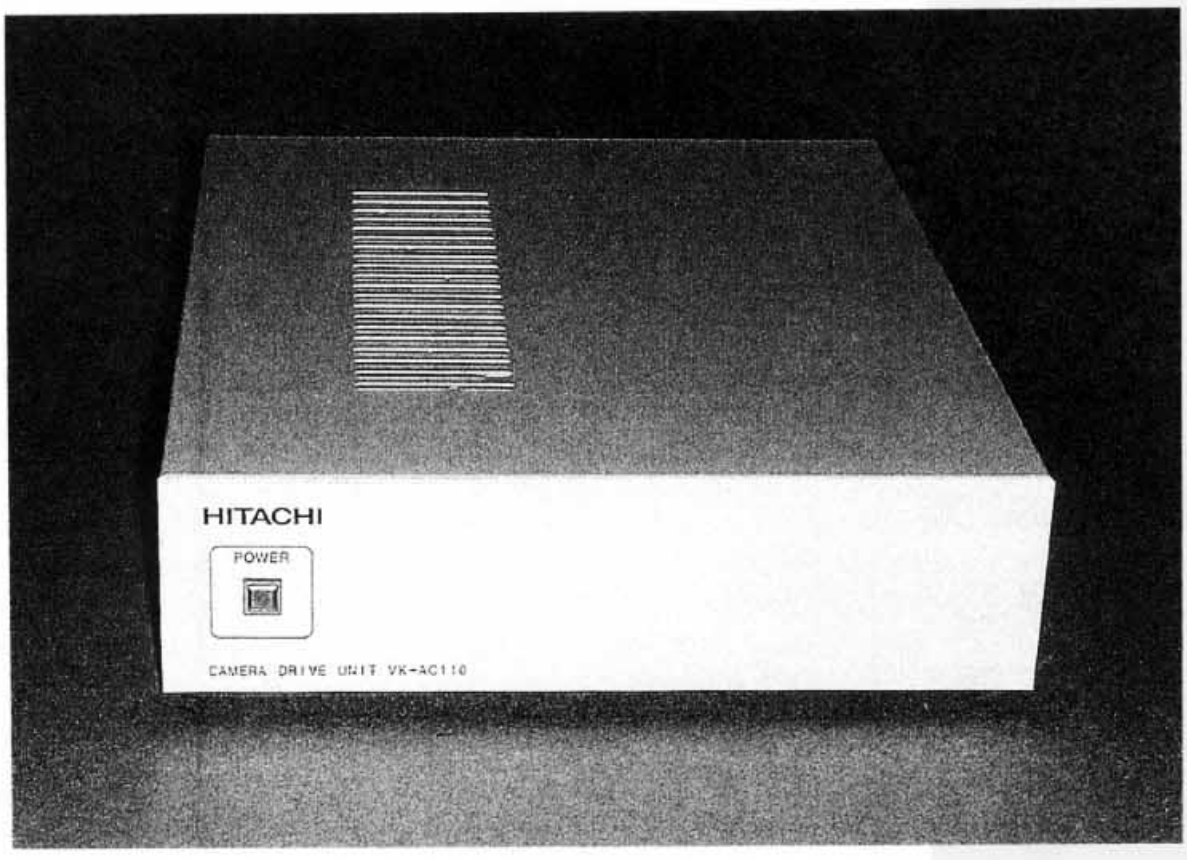
HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

日立カメラ駆動ユニット　VK-AC110形



このたびは日立カメラ駆動ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

も　く　じ

概要……2
使用上のご注意……2
安全にお使いになるためのご注意……3・4・5・6・7
各部の名称と働き……8
電源の入れかた、切りかた……9
接続のしかた……9・10
音声をとり込む……11
保証とアフターサービス……12
日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表……13
仕様……14

■表記の約束

⚠警告

⚠注意

安全に関する表記です。
3～7ページをよくお読みください。

お知らせ……操作上、お守りいただきたいことが書いてあります。

概　　要

本機は当社製の電源重畳式監視用カメラを駆動する電源ユニットです。１本の同軸ケーブルでカメラに電源を供給し、カメラからの映像、音声信号を出力します。

使用上のご注意

■ラジオの近くに置かない

- 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー„というハム音がでることがあります。本機から離してご使用ください。

■直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

■重いものや熱を発するものを上に置かない

- キャビネットが変形し、故障の原因になります。また、熱を発するものを上に置くと、内部の温度が上がり、故障の原因になります。

■強力な磁気・激しい振動のあるところに置かない

- 磁気の影響を受けて映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。

■接続機器の取扱いについて

- 本機に接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくお読みください。

■お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗料がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

■外国では使わない

- 本機は日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- 〈This video product can not be used in foreign countries as designed for Japan only.〉

■本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責については、ご容赦ください。

安全にお使いになるためのご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載しています。
注意事項は、取扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

表示について

⚠警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	誤った取扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される」内容および「物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

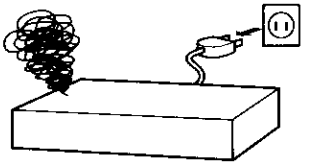
※1 重傷……失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害……治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害……家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

注意	この記号は、気をつけていただきたい「注意」(警告を含む) 内容です。
禁止	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
分解禁止	この記号は、「分解禁止」を表しています。
接触禁止	この記号は、手を触れてはいけない「接触禁止」を表しています。
強制	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
プラグを抜く	この記号は、コンセントから「電源プラグを抜く」ことを表しています。

⚠警告

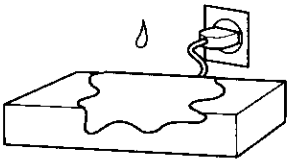
煙が出ている、へんな臭いがするなど異常なときは、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異常状態に気づいたらすぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない



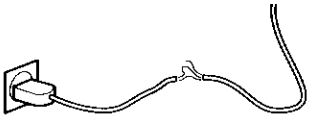
内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。
- 水場では本機を使用しないでください。
- 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。

電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

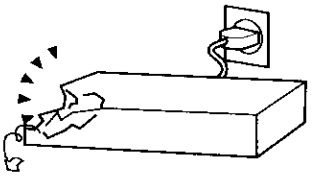
- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重いものや角が鋭利なものを乗せない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- たばねない
- 敷物などでおおわない



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

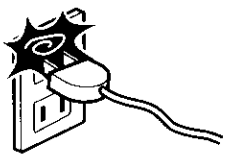
落としたり、キャビネットを破損しない



落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

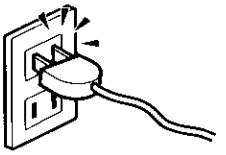
電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない



電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。

- 万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから抜いて、取り除いてください。

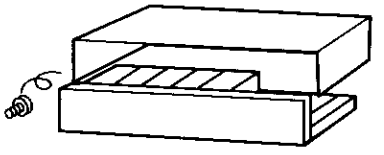
電源プラグが不完全な接続のまま使わない



接触不良で発熱し、火災の原因となります。

⚠警告

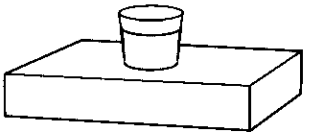
分解・改造しない、カバーを開けない



分解・改造すると、火災・感電の原因となります。

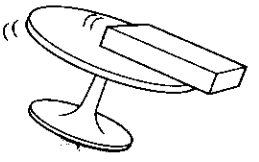
- カバーの内部には電圧の高い危険な部分もあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



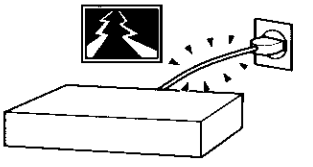
本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない



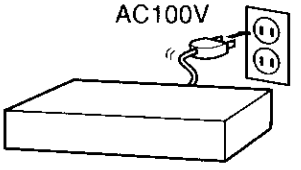
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

雷がなるときは電源コードに触れない



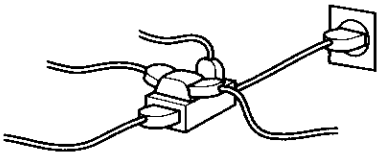
雷が鳴り始めたら、電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

表示された電源電圧で使用する



表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

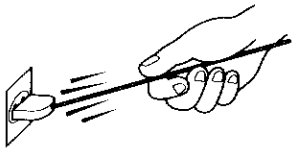
タコ足配線しない



タコ足配線しないでください。火災・過熱の原因になります。

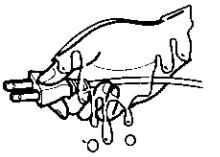
⚠注意

電源コードを持って抜かない



電源コードを持って引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

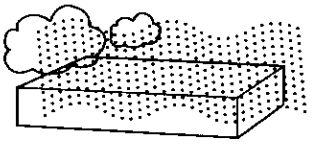


ぬれていると感電する原因となることがあります。

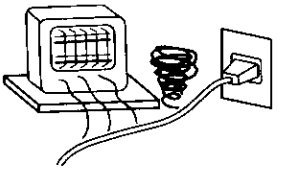
湿気、ほこり、湯気は避ける
振動が激しい場所は避ける

火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動が激しい場所

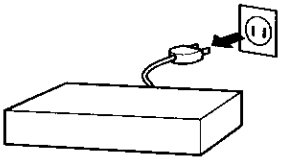


電源コードを熱器具に近づけない



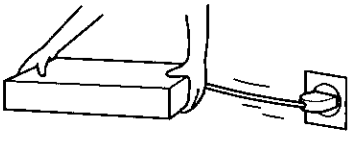
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

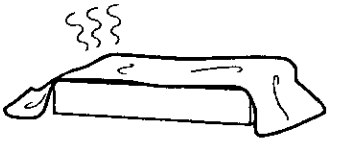
移動させるときは注意する



移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードを抜いたことを確認のうえ、行ってください。抜かないで移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

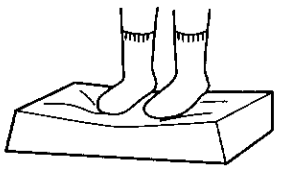
⚠注意

通風孔をふさがない



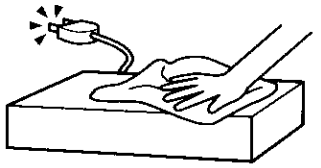
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機を専用のビデオラック以外の本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。

本機の上に乗らない



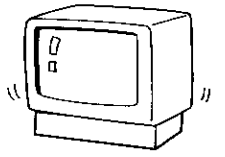
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れするときは電源プラグを抜く



安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の上に重いものを置かない



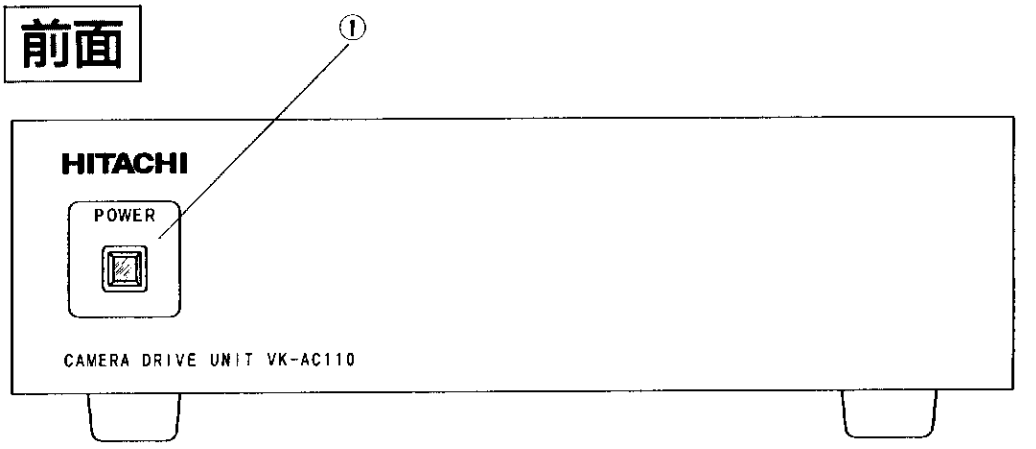
本機の上に重いものやテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

保守点検について

保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

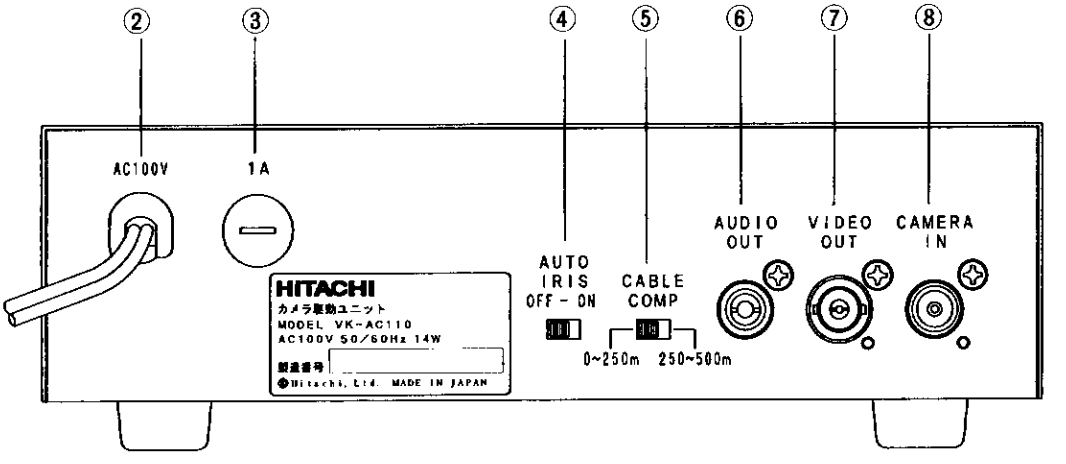
各部の名称と働き

前面



① 電源表示ランプ (POWER)

後面



② 電源コード

③ ヒューズ

④ オートアイリススイッチ

⑤ ケーブル補正スイッチ
接続する同軸ケーブルの長さと種類により切替えます。

⑥ 音声出力端子 (AUDIO OUT)
カメラ側の音声を聞きたいときに使用するライン出力コネクタです。

⑦ 映像出力端子 (VIDEO OUT)
モニターやタイムラプスビデオの映像入力に接続します。

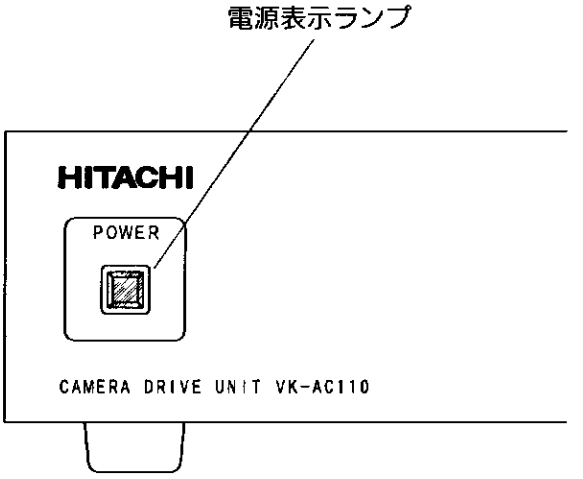
⑧ カメラ入力端子 (CAMERA IN)
カメラに接続します。
指定以外のカメラを接続されますと、故障の原因になりますのでご注意ください。

⚠注意

正しくセットされていないと故障の原因となります。

電源の入れかた、切りかた

本機の電源コードをAC100Vコンセントに差し込み、電源が入ると、ランプが緑に点灯します。
電源を切るときは、電源コードをコンセントから抜いて下さい。



⚠警告

- 電源コードの上に物を載せたり、傷などをつけないようご注意ください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- カメラやモニターなどを接続するときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- 電源コードをコンセントに差し込むときは、プラグを握ってしっかり差し込んでください。また、電源コードを抜くときも、プラグを握って抜いて下さい。

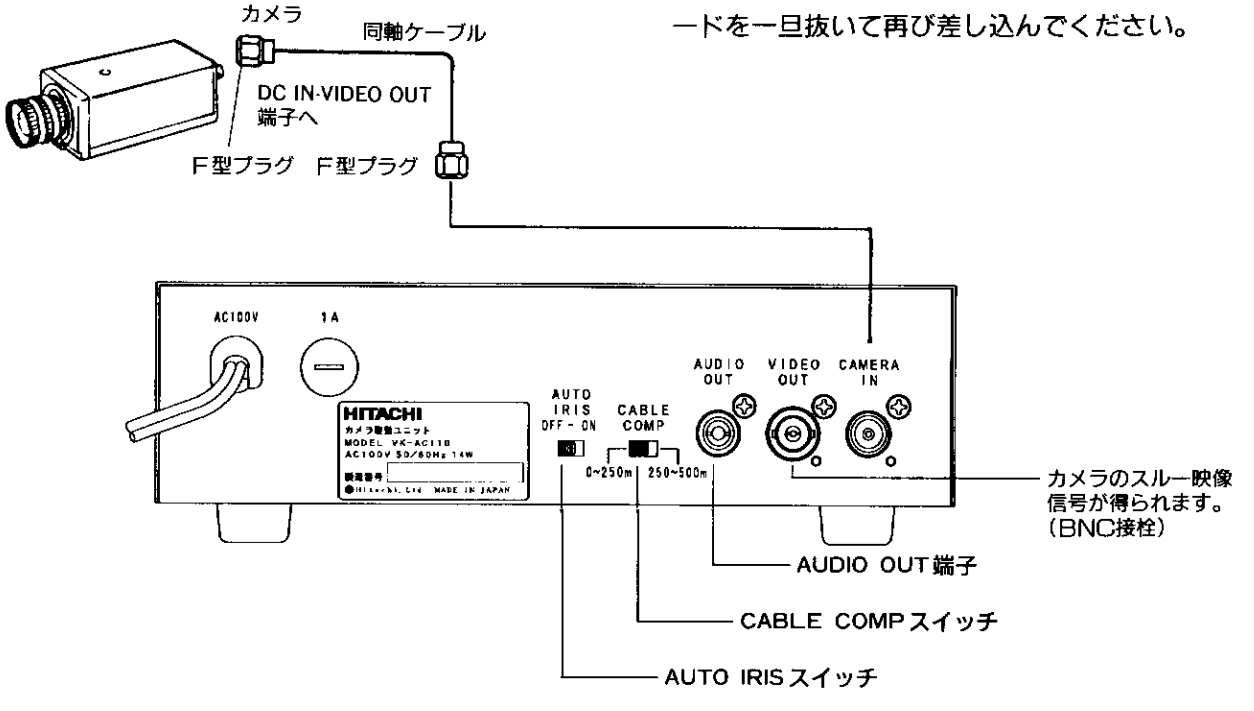
接続のしかた

●監視用ビデオカメラをつなぐ

指定のビデオカメラをお使いください。
ご使用できるカメラはVK-C456/C336/C306/M306/C878/C858/C838/C77MKⅡ/C555R/C170/M17です。
(これ以外のカメラはお使いになれません。)

お知らせ

- 電源が入った状態で、F接栓の抜き差しをした場合、F型プラグの芯線がF接栓周囲のGNDに接触すると、本機の保護回路が働いて、映像が出なくなります。その際には、電源コードを一旦抜いて再び差し込んでください。



CABLE COMP.スイッチの切り換え

本機とカメラをつなぐ同軸ケーブルの長さと種類により、周波数特性を補正する必要があります。

(例) 5C-2V線をご使用の場合、ケーブルの長さが250mまでのときは「0～250m」側に、250mから500mまでのときは「250～500m」側にスイッチを切り換えてください。

(例) 3C-2V線では、ケーブルの長さが100mまでのときは「0～250m」側に、100mから200mまでのときは「250～500m」側に切り換えてください。

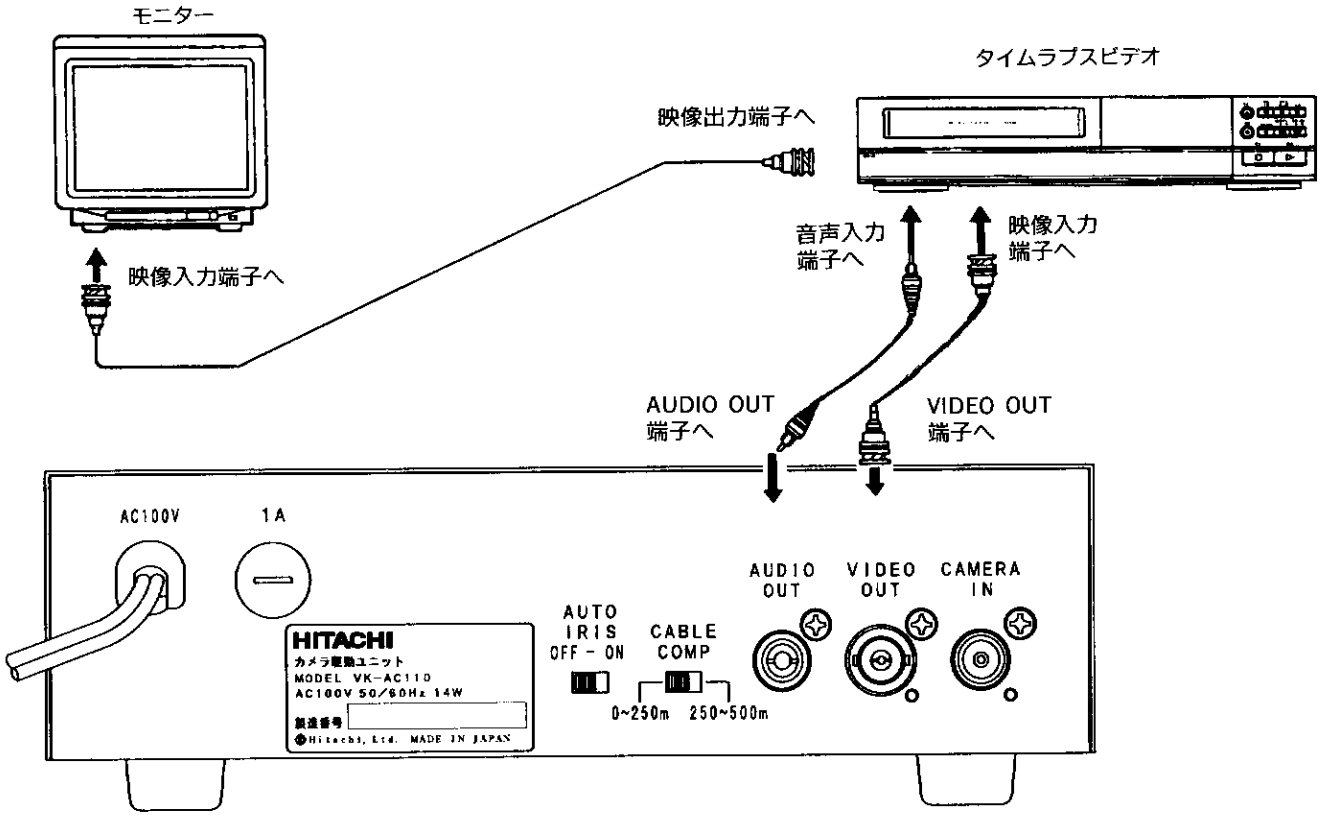
AUTO IRISスイッチの切り換え

接続するカメラにより切り換えてください。

形　名	VK-C77MKⅡ	VK-C555R VK-C170 VK-M17	VK-C456 VK-C336 VK-C306 VK-M306 VK-C878 VK-C858 VK-C838
スイッチ	ON	ON※	OFF

※装着レンズがマニュアル アイリスレンズの場合は、「OFF」にしてください。

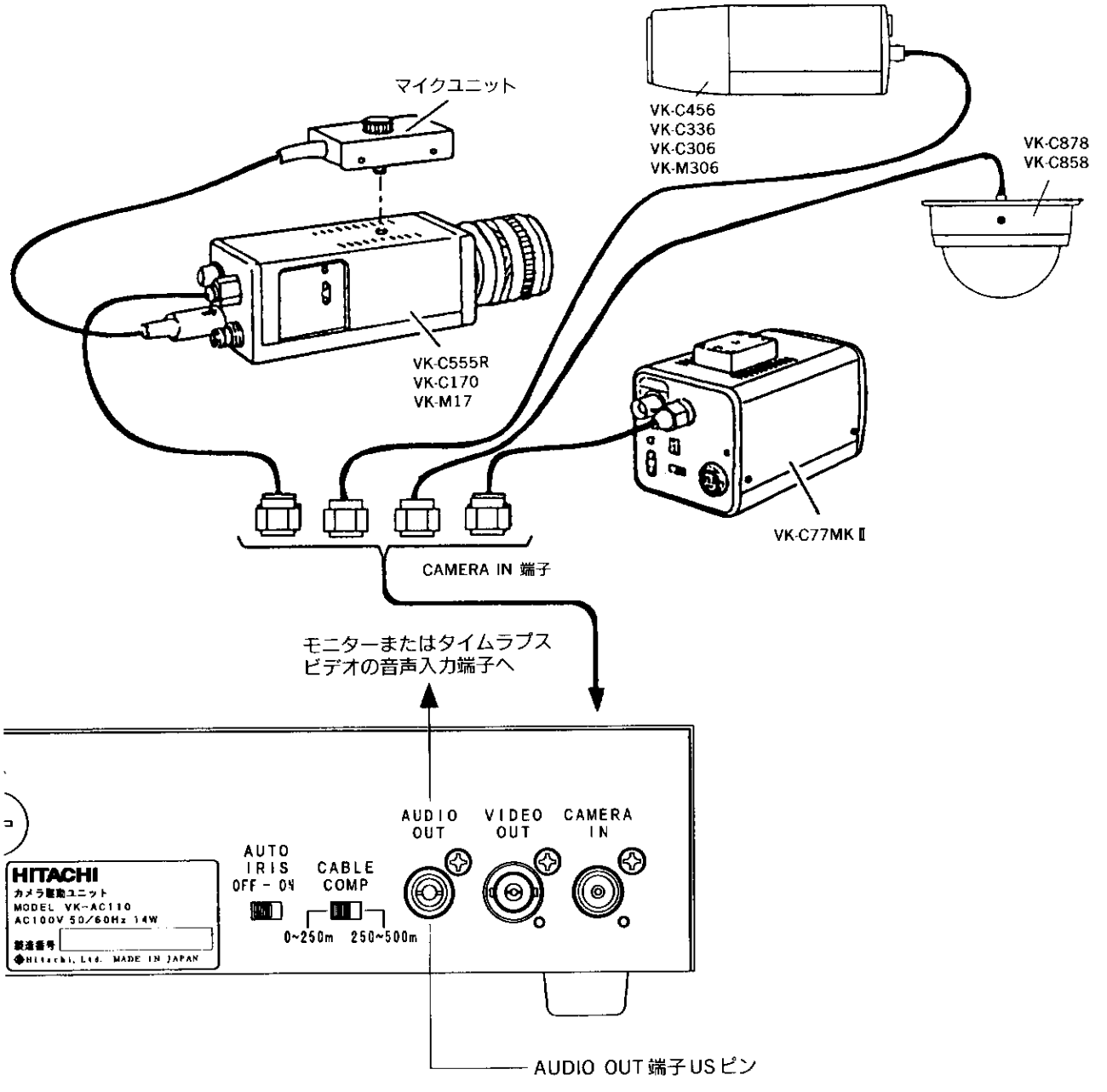
●モニターやタイムラプスビデオなどを接続する。



VK-AC110

音声をとり込む

CAMERA IN 端子は、映像信号のほかに音声信号もとり込むことができます。VK-C555R、VK-C170、VK-M17に当社製マイクユニットVT-EM20(別売品)を取り付けたカメラや、VK-C456、VK-C336、VK-C306、VK-M306、VK-C878、VK-C858、VK-C77MK Ⅱを接続します。
入力した音声はAUDIO OUT 端子に出力されますので、モニターやタイムラプスビデオの音声入力端子に接続します。
VK-C838は、音声に対応しておりません。



お知らせ VK-C77MK Ⅱをお使いになる時は、カメラ後面のMIC/OFFスイッチを「MIC」に切換えてください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証書（別添）について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げの日から１年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このカメラ駆動ユニットの補修用性能部品を、製造打切後８年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表」(13ページ) のお客様窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店をご紹介させていただきます。転居にともない本機を設置する環境(建物内部の配線等)が変わると、所定の性能がえられなかったり、故障の原因になりますので、設置業者による配線工事や調整が必要です。

修理を依頼されるときは（出張修理）

本機が正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源を切ってからお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、カメラ駆動ユニットの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	カメラ駆動ユニット
形　名	VK-AC110形
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技　術　料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部　品　代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出　張　料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

保守点検サービスのおすすめ

保守契約を結んでいただきますと、保守契約期間中は保守契約条項により、安心で有利なサービスが受けられます。

- 障害が発生した場合は、保守員を派遣して装置の修復を行うとともに、必要により点検を実施します。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

※フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5（日立家電上野ビル）
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区川宮町55（日立家電守山ビル）
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

仕　様

形式	VK-AC110形
カメラ入力	VBS. 1.0Vp-p/75Ω (F接栓)
映像出力	VBS. 1.0Vp-p/75Ω(BNC接栓)
音声出力	−7.8dBs/1kΩ不平衡 (USピン)
カメラ電源供給方式	定電流重量伝送方式
カメラケーブル延長距離	最大 500m(5C-2V)　最大 200m(3C-2V)
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	約14W(カメラ1台接続時)
周囲温度	0℃~40℃
湿度	30%~85%RH
寸法	212(幅)×67(高さ)×266(奥)㎜
質量	2.0㎏
仕上	ヴェガホワイト(マンセル値 3.5Y7.9/0.5)
電源コード	1.8m

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このカメラ駆動ユニットは日本国内専用です。電源、電圧、信号方式の異なる外国ではお使いになれません。

ご購入店名：　　後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときお役にたちます。

電話（　　—　　—　　）　ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号
が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ユーザにおこたえする窓口
0120-312119
家電ビジネス情報センター 平日午前9時～午後5時30分、土・日・祝日は休業

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

Rev. A